

(2015/8/31版)

第9回MUレーダー・赤道大気レーダーシンポジウム 第291回生存圏シンポジウム

日時：平成27年9月10日(木) 13:30~18:00 (懇親会 18:00~19:30)

11日(金) 10:00~16:00

場所：京都大学 宇治キャンパス 木質ホール大会議室

主催：京都大学生存圏研究所

共催：URSI分科会 G小委員会 (電離圏電波伝搬)

Web: <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/ear/sympo.html>

プログラム

講演15分 + 質疑5分 (1鈴12分, 2鈴15分, 3鈴20分)

9月10日

(座長: 橋口浩之)

13:30 - 13:40 あいさつ

MUレーダー/赤道大気レーダー全国国際共同利用専門委員長 山本衛

13:40 - 14:00 ウィンドプロファイラと気象レーダーの比較に基づく福井平野における地形性降雨の統計解析

中城智之(福井工大)・山本真之(NICT)・橋口浩之(京大RISH)

14:00 - 14:20 Shigaraki UAV-Radar Experiment (ShUREX 2015)

橋口浩之(京大RISH)・Lakshmi Kantha・Dale Lawrence・Mixa Tyler
(Colorado大, 米)・Hubert Luce (Toulon大, 仏)・Richard Wilson
(LATMOS, 仏)・津田敏隆・矢吹正教(京大RISH)

14:20 - 14:40 MRR観測から得られたBBパラメータの特徴について

永田哲規・下舞豊志(島根大)・橋口浩之(京大RISH)

14:40 - 15:00 2012年12月のコールドサージに伴うフィリピン海での大気海洋相互作用

荻野慎也(JAMSTEC・神大)・伍培明・服部美紀・遠藤伸彦・久保田尚之・井上知栄(JAMSTEC)・松本淳(JAMSTEC・首都大)

15:00 - 15:20

=== 休憩 ===

(座長: 荻野慎也)

15:20 - 15:40 熱帯対流圏界面領域にみられる赤道ケルビン波の経年変動

鈴木順子(JAMSTEC)・藤原正智(北大)・西憲敬(福岡大)・米山邦夫(JAMSTEC)

15:40 - 16:00 スマトラ島Pre-YMC2015集中観測計画について

森修一・勝俣昌己・米山邦夫(JAMSTEC)・Fadli Syamsudin(BPPT, インドネシア)

16:00 - 16:20 EARおよびBLR観測から推定した雨滴粒径分布と降雨減衰係数の変動

Ou Tengfei・下舞豊志(島根大)・橋口浩之(京大RISH)

16:20 - 16:40 赤道域におけるKu帯衛星回線の降雨減衰継続時間と上空の風速および降水量との関係について

前川泰之・竹本圭吾・田間章宏・柴垣佳明(大阪電通大)

16:40 - 17:00

=== 休憩 ===

(座長: 下舞豊志)

- 17:00 - 17:20 Spectral parameters estimation in precipitation for 50 MHz band atmospheric radars
Tong Gan (京大RISH)・M.K. Yamamoto (NICT)・H. Okamoto (九大応力研)・H. Hashiguchi・M. Yamamoto (京大RISH)
- 17:20 - 17:40 MUレーダー実時間アダプティブクラッター抑圧システムの開発
万城孝弘・橋口浩之・山本衛(京大RISH)
- 17:40 - 18:00 関東落雷観測網の構築と今後の課題
山下幸三(サレジオ高専)・高橋幸弘(北大)・濱田純一・松本淳(首都大)

18:00 - 19:30 === 懇親会 (プログラム末尾をご覧ください) ===

9月11日

(座長: 山本衛)

- 10:00 - 10:20 インドネシアにおける電離圏擾乱のGPS観測
大塚雄一・Prayitno Abadi・塩川和夫(名大STE)・小川忠彦(NICT)・Effendy (LAPAN, インドネシア)
- 10:20 - 10:40 Altitude development of F-region field-aligned irregularities at post-midnight in comparison with post-sunset time based on equatorial atmosphere radar
Tam Dao・Yuichi Otsuka・Kazuo Shiokawa (名大STE)・S. Tulası Ram (IIG, インド)・Mamoru Yamamoto (京大RISH)
- 10:40 - 11:00 Effect of Geomagnetic Storm on Postmidnight Equatorial Plasma Bubbles
Dyah Martiningrum・M. Yamamoto (京大RISH)・Asnawi・Sri Ekawati (LAPAN, インドネシア)
- 11:00 - 11:20 プラズマバブルの数値シミュレーションと近年のEAR電離圏観測成果
横山竜宏・陣英克・品川裕之(NICT)・山本衛(京大RISH)・大塚雄一(名大STE)・S. Tulası Ram・K. K. Ajith (IIG, インド)
- 11:20 - 11:40 プラズマバブルに伴う極めて大きな電離圏TEC勾配とその衛星航法に対する影響
斎藤享(電子航法研)

11:40 - 13:00 === 昼食 ===

(座長: 斎藤享)

- 13:00 - 13:20 East-west asymmetric of scintillation occurrence in Indonesia using GPS and GLONASS observations
Prayitno Abadi・Yuichi Otsuka (名大STE)・Susumu Saito (電子航法研)・Kazuo Shiokawa (名大STE)
- 13:20 - 13:40 Different characteristics of EIA in equinox and solstice obtained from Southeast Asia
Kornyanat Watthanasangmechai・M. Yamamoto (京大RISH)・A. Saito (京大理)
- 13:40 - 14:00 Observations of signal scintillation from LITN and GPS at Taiwan
T. Y. Hsiao (Hsing Wu University, 台湾)・L.-C. Tsai・C. H. Liu (National Central University, 台湾)

14:00 - 14:20 新・衛星＝地上ビーコン観測と赤道大気レーダーによる低緯度電離圏の時空間変動の解明 ―新しい研究プロジェクト紹介―
山本衛・橋口浩之(京大RISH)・斎藤昭則(京大理)・松永真由美(愛媛大)・斎藤亨(電子航法研)・Huixin Liu(九大)・横山竜宏(NICT)・Roland Tsunoda (SRI International, 米)

14:20 - 14:40 === 休憩 ===

(座長: 大塚雄一)

14:40 - 15:00 稚内VHFレーダーと信楽MUレーダーで観測された夏季中間圏エコーの特性比較

小川忠彦(NICT)・大塚雄一(名大STE)・川村誠治(NICT)・鈴木秀彦(明治大)・山本衛(京大RISH)・村山泰啓(NICT)

15:00 - 15:20 MUレーダーを用いたスペースデブリの形状推定に関する研究

岩堀太紀・山川宏・山本衛・橋口浩之・河原淳人(京大RISH)

15:20 - 15:40 国際宇宙ステーションからの大気光・イオン共鳴散乱光で観測された電離圏構造

齊藤昭則・穂積裕太(京大理)・坂野井健(東北大理)・吉川一朗(東大新領域)・山崎敦(ISAS)・山本衛(京大RISH)

15:40 - 16:00 MUレーダー流星ヘッドエコー観測による惑星間ダストの軌道とアブレーション過程の計測

阿部新助(日大)・Johan Kero(Swedish Institute of Space Physics)・中村卓司(極地研)・藤原康則(総研大/極地研)・Daniel Kastinen(Luleå University of Technology, スウェーデン)・渡部潤一(天文台)・橋口浩之(京大RISH)

お願い

(1) 懇親会について

参加費: 一般: 4,000円、学生: 2,000円 (予定)
会場: 京都大学宇治キャンパス生協2階「ピアチ」
申込み: 当日、受付にて出欠をお知らせ下さい

(2) 発表について

講演会場にはPCプロジェクタ1台を用意します。ご自身でノートPCを接続して下さい。それ以外が必要な場合には、事前に橋口(hasiguti@rish.kyoto-u.ac.jp)まで御連絡下さい。

(3) プロシーディングについて

プロシーディングを作成いたします。発表いただいた方々には、下記要領にて原稿を作成・ご送付いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。発表で使われたPowerPointファイルをお送り頂いても結構です。縮小して印刷いたします。

用紙: A4縦
ページ数: 2~6ページ
原稿締切: 2015年9月11日(金) (シンポジウム2日目)
送付方法: WORDまたはPDFファイルを電子メールにてお送り下さい
あて先: 電子メール: ear-sympo@rish.kyoto-u.ac.jp
郵送の場合は下記宛に送付
〒611-0011 宇治市五ヶ庄
京都大学生存圏研究所 橋口浩之
電話 0774-38-3819
備考: 白黒印刷で作成します。